

第186回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和2年12月14日(月) 14:00 ~ 15:05
場所	<TV会議により実施> 本部棟3階 特別会議室, 本部棟5階 大会議室, 医学部 第1会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 秋重理事, 荒瀬理事, 井川理事, 肥後副学長, 出口副学長, 武田副学長, 金山副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長, 村瀬人間科学部長, 鬼形医学部長, 廣光総合理工学部長, 井藤生物資源科学部長, 田中評議員, 河添評議員, 山崎評議員, 石原評議員, 小俣評議員, 川向評議員, 河野評議員, 廣瀬評議員, 境評議員, 村川評議員, 杉江評議員, 松崎評議員
オブザーバー	千家監事
欠席者	長澤理事 〔陪席: 附属義務教育学校長, 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 法文学部事務長, 医学部事務部長, 自然科学系事務部長, 企画広報課長, 総務課長, 教育企画課長, 大学教育センター原田講師〕

議題1 教育の質保証評価書の作成について

- 荒瀬理事から教育の質保証評価書の作成について説明があった。
- 小俣評議員から学位プログラムという名称を使用することが適当であるか質問があり, 荒瀬理事から質保証評価書では学部・研究科単位ではなく学位単位で記載する予定であるため学位プログラムという名称を用いているが, 読み手の誤解を招く可能性があれば再度検討するとの回答があった。
- 肥後副学長から学部・研究科における個々の教育の質が担保されていれば大学全体の教育の質が担保されることになるのか質問があり, 荒瀬理事から必ずしも学部・研究科個々の教育の質が担保されていることをもって大学全体の教育の質の担保になっているとはいえないと考えており, 大学全体の教育の質保証については今後検証を進めるとの回答があった。
- 松崎評議員から共通教育科目や副専攻プログラムなど学部を横断して展開する教育について全学的な視点での検証をより推進していくための仕組み作りが必要ではないかとの意見があった。
- 以上を踏まえて, 学位プログラムという名称を使用するかについては再検討とし, 1月または2月の教育研究評議会でも再度審議することとなった。

協議事項1 令和2年度学位授与式の開催について

- 藤田理事から令和2年度学位授与式の開催案について説明があった。
- 評議員から特段の意見はなかったため, 現在の方向性で検討することとし, 教育研究評議会または新型コロナウイルス感染症対策本部会議で審議することとなった。

報告事項1 SMART20の進捗状況・検証結果及び公表内容について

- 学長からSMART20の進捗状況・検証結果及び公表内容について報告があった。

報告事項2 国立大学法人島根大学における部局評価に関する規則の一部改正について

- 秋重理事から国立大学法人島根大学における部局評価に関する規則の一部改正について報告があった。

報告事項3 授業料等免除及び徴収猶予規則の一部改正について

- 荒瀬理事から授業料等免除及び徴収猶予規則の一部改正について報告があった。

報告事項 4 令和3年度大学入学共通テストの実施について

- 荒瀬理事から令和3年度大学入学共通テストの実施について報告があった。

報告事項 5 島根大学共同研究取扱細則及び島根大学受託研究取扱規則の一部改正について

- 秋重理事から島根大学共同研究取扱細則及び島根大学受託研究取扱規則の一部改正について報告があった。

報告事項 6 免疫精神神経学共同研究講座の設置（期間延長）について

- 秋重理事から免疫精神神経学共同研究講座の設置(期間延長)について報告があった。

報告事項 7 他大学で発生した不正使用の紹介と本学における不正使用防止の徹底について

- 財務部長から他大学で発生した公的研究費の不正使用の紹介と本学における不正使用防止の徹底について報告があった。

報告事項 8 公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育（e - ラーニング）の受講状況について

- 財務部長から公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育(e - ラーニング)の受講状況について報告があった。

報告事項 9 Microsoft365 利用に伴う多要素認証の必須化について

- 藤田理事から Microsoft365 利用に伴う多要素認証の必須化について報告があった。

報告事項 10 情報セキュリティ講習未修了者に対する情報ネットワーク利用制限の実施について

- 藤田理事から情報セキュリティ講習未修了者に対する情報ネットワーク利用制限の実施について報告があった。

報告事項 11 島根大学における節電の取組実行計画（令和2年度冬季）について

報告事項 12 国際交流協定の締結について

報告事項 13 教員の採用等について

- 報告事項 11, 12 及び 13 は口頭での説明は省略された。

最後に、小俣評議員から冬季休業明けの授業実施方法について質問があり、藤田理事から新型コロナウイルス感染症対策本部会議で審議した結果、冬季休業明けの1月6日から1月14日までの間は全ての授業をオンラインで実施することとなったとの回答があった。